



シルバーとなみ

ふれあい

第 20 号

平成20年4月10日発行

社団法人
発行 砺波市シルバー人材
センター
砺波市高道217の2

TEL 0763-33-4341

FAX 0763-33-5854

庄川支所

TEL 0763-82-5335

(題字) 柳原 和夫



子育てセミナー「上手やちや」「それほどでもないちや」

草花の咲き競う、春が訪れ、シルバの活躍する季節となりました。昨年、身近な食品で、相次ぐ賞味期限の改ざんや偽装により、世相を反映する漢字は「偽」でした。今年に入ってもまだ続いており、法が守られていないことは悲しい限りです。ところでシルバー人材センターの業務は、高齢法では、臨時的かつ短期的、又はその他軽易な業務に係る就業を確保するものとし、同一就業場所での就業日数は概ね月十日から十三日、又は週二十時間を超えないなどと定められています。これを受け、砺波市シルバー人材センターにおいても、会員就業基準を定めています。

なかなか景気が良くならない中、契約高も伸びないところですが、高齢者の就業機会を確保する必要上、今年から富山県シルバー人材センター連合会において、労働者派遣事業に取組むことになりました。これを受け、当センターでも適正就業の推進を図るため、労働者派遣事業の導入を検討していくこととしております。

センターの基本理念である「自主・自立」「共働・共助」の精神のもと、シルバのコンプライアンス（法令順守）に会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(雨池)



大勢の会員が出席した総会



あいさつする柳原理事長

新たな取組 労働者派遣事業の導入

自主財源の確保・財政基盤の強化を図る

砺波市シルバー人材センターの平成十九年度第二回通常総会は三月二十六日午後一時三十分から庄川生涯学習センターで開かれました。

総会には五百八十名（うち委任状三百八十八名）が出席。開会のあいさつで柳原和夫理事長は「日本経済は一進一退を繰り返し不透明であり、シルバー事業を取り巻く環境は依然厳しく、事業実績は前年度に比べ五％の減少となっている。平成二十年度において、適正就業の推進・自主財源の確保・財政基盤の強化を図るため、富山県シルバー人材センター連合会を

中心とした、労働者派遣事業に当センターも導入に向け積極的に検討して行く。中長期計画に取組んできた成果の上、引続き経費の削減に取組んでいく必要がある。」と挨拶を行いました。

このあと安念砺波市長（代理福祉市民部長藤澤まゆみ氏）、林砺波市議会議長（代理副議長山田幸夫氏）、才木富山県シルバー人材センター連合会長（代理事務局次長永井勉氏）が祝辞を述べられました。

引き続き関幸子さん（東般若地区）を議長に選任し議事に入り、平成二十年度の事業計画案、収支予算案など三議案をいずれも原案通り承認しました。

互助会総会 同時開催

砺波市シルバー人材センター互助会総会も同時開催されました。昨年度には、互助会行事に関する、会員のアンケート調査を実施。その結果をもとに、今年度の事業計画・予算編成をし、互助会行事をより良いものにしようと試行錯誤を重ねました。（アンケートの結果については総会議案書のほうに掲載）

今年度の主な事業としては、

①研修旅行の実施②奉仕活動の実施③会員のつどいの実施④組織活動、研修会等の助成⑥シルバー事業への協力・支援⑤慶弔費の支給とな

っており、また本会の収入は①会費（一人年

六百円）②センターからの助成金③各負担金④寄付金など、となっており、年間総予算額は七百十万円です。

事業計画

基本計画では特に、適正就業の推進と補助金の削減に伴う収入源の確保及び財政基盤の確立・運営体制の強化を図るため、富山県シルバー人材センター連合会を主体とした労働者派遣事業を当センターにおいても導入が必要となることを説明。そのなかで、

- (1) 事業の普及啓発活動の推進
- (2) 就業機会の拡大
- (3) 適正就業の遂行

労働者派遣事業の導入

- (4) 安全就業の徹底
 - (5) 会員の加入促進
 - (6) 互助会への支援
 - (7) 講習・研修会の充実
- を基本計画に掲げています。

収支予算書

二十年度収支予算では、当期収入合計額三億九千八百六十六万円で昨年度よりもおよそ三百六十四万九千円の減少となることになりました。

三月末現在の会員数は六八〇名（男三八〇名、女三〇〇名）です。





熱心な意見交換が交わされた

今年も全21地区で開催

砺波市シルバー人材センター
互助会では、会員の生の声を直接聞く
ため、21全地区で地区別会員交流会を開催
しました。

各地とも盛会で、活発に意見交換が
交わされました。

会員一人ひとりが発言・行動する交流会へ

今年は足場の悪い日中にはありましたが、比較的好天に恵まれ、例年よりも多くの会員の方が参加され、二十一地区で二百八十二名が集まり有意義なものとなりました。

本年からは、「打合せ会」という名前は堅苦しいということから、

「交流会」に改め、各地区の担当理事と地区連絡員の協力のもと地域の特色に合わせた様々なスタイルで開催されました。

最初に、事務局から事業実績、シルバー保険についての報告があ

り、適正就業の遂行について説明があり、次いで意見交換がありました。事業報告で、十二月末で会員が七百三名となり昨年と比べると減少傾向にある。団塊の世代の入会が、定年延長・再雇用制度などにより、思うほど伸びませんでした。

また事業実績では、契約金額が四百四十万程の減少で、これは民間事業所の一般作業群で件数は伸びているが、配分金が六百五十万円ほど減少していることが影響していると報告がありました。

会員からの主要望

Q 事務所から各地区の会合などにシルバー人材センターの説明をしに来てもらえるのか。

A 老人クラブの会合等に参加させていただいています。機会がありましたらご連絡ください。

Q 適正就業について説明してほしい。

A シルバー人材センターの会員は同一就業場所に年間を通じての就業は、週二十時間又は月十〜十三日程度の就業が定められています。また、一つの仕事を複数人でローテーションを組み就業するのが望ましい就業形態です。

！安全就業の推進と 事故防止について

三月十二日に安全就業事故防止の徹底を図ることを目的として、安全就業委員会先進地視察研修を行いました。訪問地は、(社)射水市シルバー人材センターで、会員の就業中の事故防止について意見交換をしました。

☆研修での安全就業重点対策として

●就業現場の安全パトロールの強化
○屋外、屋内の安全就業パトロールの強化を図る
特に職群班別の安全就業パトロールを重点に行う

●健康管理の徹底
○自分の健康状態を確認しながら就業し事故防止をする

●就業時における事故防止の重点対策
○安全用具着用徹底による怪我の防止

○刈払機使用の適正操作厳守による事故防止

●交通安全のルール厳守について
○就業途上、就業中の交通事故防止
特に自転車による事故防止を呼びかける

就業現場を総点検し、安心して就業できる環境づくりを推進し安全で快適な作業現場が確立できるように一丸となり頑張ります。

会員だより

路上で起こる危険を体験

今年も一月二十五日、アクロス中央自動車学校にて交通安全体験講習会が開催されました。

昨年こそ大きな交通事故は発生していませんが、安全運転に対する意識の向上を図るため、毎年実施しています。

まずは高齢者の事故防止・危険予測について、自動車学校の先生から話を聞き、次に学校内のコースを使用するの運転走行をおこないただきました。指導員の方に同乗していただき、緊急回避、スラローム、スキッドコースなど体験走行し、その都度指導員から細かい注意事項を聞きました。

受講した会員らは、日頃詳しい指導を受けたことがないだけに、



濡れた路面でのスリップ体験

手に汗しながらハンドル操作を行っていました。

本格的な作業の開始を前に講習会を開催

樹木管理群の会員を対象とした、剪定講習会が二月二十五日砺波市シルバーワークプラザで開催されました。

講師には、日本樹木医会から、富山県支部の事務局長である松島茂宜氏を迎え、主に活動されている桜の保全活動の話を中心に、樹木の病害虫・剪定について学びました。

講習会終了後には、樹木管理群の来年度に向けた全体打合せ会を開きました。

子育て支援のノウハウ学ぶ

砺波市シルバー人材センターの子育てセミナーが二月十五日、砺波市シル



バーワークプラザで行われました。ニチイ学館よりベビーシッター講座講師のもと、「里帰り出産：自宅へ戻るまでの産後のお手伝い」ということで十二名が参加しました。

この日は、①現在と昔の育児の違い②産後のお母さんのマタニティブルー（産後うつ）③排泄・沐浴・調乳・授乳・離乳食の実技④安全管理についてなどを中心に講義を受けました。

実技の沐浴体験では、赤ちゃんの人形を持つ手に力が入り、顔には自然と笑みがこぼれ、昔を懐かしむ一面もあったのではないでしょう。

センターでは、実際に産後のお手伝いの依頼もあり、これからの時代のニーズに合わせた実のある講習会となりました。

◎配分金支払い日案内◎

五月十五日	(木)
六月十三日	(金)
七月十五日	(火)
八月十五日	(金)
九月十二日	(金)
十月十五日	(水)

来る人行く人

◇庄川支所長心得

大井 幹男(新任)

◇コーディネーター

坪本 幸世(新任)

◇退 職

藤井 祐美

(十二月三十一日付)

石黒 吉弘

(三月三十一日付)

編集後記

今年は雪景色を見る機会が例よりも多く感じられました。が、数日で春の訪れを感じるようになり、シルバーの仕事のほうにも忙しくなってきました。

冬場は、椅子に座り、パソコンと睨めっこというデスクワーク、中心で体もすっかり鈍ってしまいました。

そんな体も気合いを入れなお、今年度も会員の皆さんと共に、張りたいと思います。(S記)